

平成22年度 学校関係者評価

学校自己評価システムシート (熊谷市立石原小学校)

目指す学校像 「夢と希望を育み 感動のある石原小学校」

重点目標 1 様々な体験活動を通して健康で安全な生活を営む資質や能力を育てると共に、運動の習慣化を図る。
2 学習内容を押さえ「わかる授業」を展開し、「確かな学力」の定着・向上と学習の意欲化を図る。
3 基本的な生活習慣の確立と共に、お互いに認め合う豊かな人間関係づくりに努める。
4 家庭と地域との連携を深め、開かれた学校づくりをめざし、期待と信頼に応える教育の推進する。

達成度	A	ほぼ達成 (9割以上)
	B	概ね達成 (8割以上)
	C	変化の兆し (6割以上)
	D	不十分 (6割未満)

出席者 学校関係者 5名
事務局(教職員) 4名

学校自己評価						
年度目標				年度評価 (2月22日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> 運動の2極化が見られる。体力は県平均を上回っている種目が多いが、さらに課題となる種目について自ら取組めるように工夫したい。 昨年度、交通死亡事故が発生してしまった。事故防止の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎体力の向上 交通事故防止 	<ul style="list-style-type: none"> ①一人一人の子どもに新体力テストの結果から体力向上のめあて(目標)を持たせる。 ②めあて達成に向けた具体的な取組の実施や環境を整える。 ③交通事故防止のための指導の徹底と交通安全意識の高揚を図る。(自転車免許制度・親子自転車教室開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ①児童に体力の目標を持たせ、家庭との連携が図れたか。 ②めあて達成に向け、児童に適切な支援・援助、具体的な取組ができたか。 ③交通事故防止に関する安全への高揚が児童・保護者に図れたか。ヘルメット購入児童の増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ①新体力テストの結果を知らせた。家庭との連携のための「体力貯筋通帳」を作成活用してきた。 ②取組が評価され、県教委教育委員会より、体力向上優良校として表彰される。 ・ひろばにマラソン設定活用 ③本年度、交通事故0。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校における体育的行事や業前運動の充実・チャレンジタイムの確保のための日課表等検討する。 ○4年生の自転車免許制度を今後も独自で実施継続する ○自転車乗車中のヘルメットの着用の啓発を繰り返し行い所有率向上を目指す。
2	<ul style="list-style-type: none"> 学力の個人差が大きく基礎基本の学力が身につけていない児童もいる。 読書については、比較的に良く取り組まれているが、家庭学習の習慣が身につけていない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の基礎基本の定着 読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①委嘱研究を学校研究課題として組織的に授業に取組む。 ②国語の力「書く・読む」の基本的な能力を大切に授業を展開・漢字の定着を図る。 ③学習規律と学習意欲を喚起する。特に、姿勢・鉛筆の持ち方や学習の約束を徹底する。 ④学級文庫の充実を図る。 ⑤板書計画の個人ファイルを蓄積する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①計画的に職員研修を進め、毎時間の学習内容を明確にした授業が行われたか。 ②国語の力を意識した取組が、各授業で展開されたか。 ③学習規律の徹底と繰り返して姿勢や鉛筆の指導ができたか。 ④学級文庫の整備充実が図れたか ⑤板書計画の個人ファイルが作成し、共有化の具体的な対応が図れたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ①全員1回の研究授業実施と3回の全体研修会、道徳授業のブロック内での公開授業を通し研修ができた。 ③1年生全員に、鉛筆の矯正器具を購入し、徹底した指導を行った。 ④学級文庫の入れ替えができた。 ⑤研究授業の板書をデジカメで記録できた。 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ○来年度は、市の研究委嘱の成果を11月5日に発表する。発表体制を確立する。 ○2年次も引き続き補正器具が必要な児童は、使用していく。 ○新本を購入し、学級文庫へ設置できるよう工夫、又、各家庭へ呼びかけていく方法も考えていく。 ○共有できる工夫を行う。
3	<ul style="list-style-type: none"> 礼儀正しくけじめのある生活ができている児童が多いが、検証結果から、あいさつは良くなってきているが、基本的な生活習慣が身につけていない児童も見られる。達成率では、ていねいな言葉遣いや授業準備の項目が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の定着 豊かな心の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ①道徳教育の充実を図り、校内でお互いの授業を参観し合う ②道徳授業の学習内容の配信と家庭と共有する工夫を図る。 ③障害のある児童の理解と自己実現の支援を図る。 ④「返事 あいさつ 後始末」の徹底を図る。 ⑤熊谷市4つの実践・3減運動の啓発を図る。(強化週間設置) 	<ul style="list-style-type: none"> ①道徳の授業を35時間以上実施できたか。 ②道徳授業の授業参観での公開・心のノートの活用が図られたか 又、互いに認め合う人間関係づくりの指導・支援ができたか。 ③自己実現のための支援ができたか。 ④「返事・あいさつ・後始末」の約束や決まり事を守らせることができたか。 ⑤4つの実践と3減運動の具体的な取組や啓発ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ①計画通り実施できている。 ②授業参観での公開はできたが、「心のノート」の家庭への啓発がやや徹底していない学級も見られた。 ③巡回相談等での指導助言を生かし、個々の児童を見つめた支援ができ、個別の指導計画を作成し取組めた。 ④おおむね良好 ⑤学校保健会で児童実態調査を実施し保護者に啓発できた。 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さらに、道徳授業の様子や心のノートを活用し、家庭と共有する工夫が必要である。 ○必要な児童には、保護者と連携しWISC検査を実施し、具体的な指導資料を作成して指導を行う。 ○来年度も、強化週間を設定し実践していく。4つの実践について啓発を図る。
4	<ul style="list-style-type: none"> 学級懇談の出席率が低く参加できるようなハード面とソフト面の強化していく。 又、学校のホームページ等から情報をタイムリーに発信すると共に、学校だよりや学校応援団だよりを自治会へ回覧する事によって地域に広く配信していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者・地域住民等との連携 学校応援団の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ①学級懇談を全校で一斉に開催し、参加率と懇談会の出席率を増やす。 ②HP、学校だより等による情報配信を活性化させる。 ③学校行事の積極的な公開とアンケートを実施する。 ④文教地区としての施設の積極的な活用と学校応援団の地域人材の活用と交流を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①毎回の参加率を集計する。 ②HPのアクセス数で確認並びに更新数の状況を把握する。 ③PTA理事会時の校内巡視やアンケート調査を実施しフィードバックする。 ④学校応援団の新規加入開発・人材活用が積極的に行われたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ①授業参観84%学級懇談65%の参加があった。 ・参加しやすい体制の整備ができた。(全体授業実施) ②本年度で約1万2千件のアクセスがある。 ③返答が少なかった。 ④本年度の新規に、西熊谷病院・バドミントン協会・熊谷看護学校・人権擁護委員加入 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ○同一日で低・高学年の学級懇談を分ける工夫を考える ○全体授業の合唱発表会を熊高、大原中へ引き続き依頼していく。 ○PTA理事への学校へ参画意識を高める工夫をする。 ○環境整備や安全面でのボランティアを増やす呼びかけをする。

学校関係者評価	
実施日 平成23年2月22日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> 運動ができるということは、規律もできているということなので、大変よいことである。 自転車免許制度はよいことなので継続してほしい。 自転車の決まりが守れていない時がある。しっかり決まりを守らせたい。 ヘルメットの購入を引き続き勧めてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学力調査の数値だけでは測れないが、数値も頭に入れて課題をはっきりさせて取り組んでほしい。 鉛筆の持ち方について昨年度お願いしたが、すぐに対策を立て実践してもらえよかった。 宿題の出し方は学級によって差があるようだ。 アンケートの学力向上の取組について、職員と保護者との意識の差がある。もっと積極的に知らせていくべきである。
<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育を徹底してほしい。世の中が乱れていて、日本人がだらしないように思う現代だからより大切である。 校内でのあいさつはよくできている。しかし、朝旗当番の人にできていないときがある。継続した指導を。 読書は先生も一緒に読むことで効果がより上がると考える。 蔵書をさらに充実させるなら、家庭に呼びかけて本を寄贈してもらおうのも一案ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観後、全員残して授業のようにやるのは、よいこと。中学校や高校の合唱の発表の機会にもなっている。 開かれた学校づくりのため、よく取り組んでいるので、続けてやってほしい。